

受付番号： 2020-1-911

課題名：人工知能を用いた IPMN 良悪性診断の有用性の検討

1. 研究の対象

1996 年 1 月～2014 年 12 月までに外科的手術を受けられ IPMN と診断された方。

2. 研究期間

2021 年 1 月（倫理委員会承認後）～2024 年 3 月

3. 研究目的

超音波内視鏡（EUS）にて取得した膵嚢胞画像を取得し、そのデータを学習用・検証データとして作成する。人工知能（AI）ソフトウェアを作成、東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターのスーパーコンピューターを用い AI の学習を行って完成させる。完成された AI の妥当性を確認する。

4. 研究方法

参加施設ごとの EUS 画像を集積する。人工知能（AI）ソフトウェアを作成、東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターのスーパーコンピューター-shirokane（スパコン）を用い AI の学習を行って完成させる。完成させた AI アルゴリズムを用いて外的検証データの結果を予測させ、その診断能を算出する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、EUS 画像、治療歴、生年月日、イニシャル、カルテ番号 等

6. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、総括施設の研究責任者が保管・管理します。

7. 研究組織

愛知県がんセンター	清水泰博（本体研究研究代表者）、原和生、桑原崇通（研究代表者）
国立がん研究センター中央病院	肱岡範（本体研究研究事務局）
愛知県がんセンター研究所	松尾恵太郎（疫学統計解析）
手稲溪仁会病院	金俊文
和歌山県立医科大学	廣野誠子、北野雅之
仙台市医療センター	越田真介
東北大学	正宗淳
東京医科大学	糸井隆夫
近畿大学	竹中完
JA 尾道総合病院	花田敬士
九州大学	中村雅史
福岡大学筑紫病院	植木敏晴
京都府立医科大学	柳澤昭夫（病理コンサルタント）

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

東北大学院医学系研究科内科病態学講座（消化器病態学分野） 正宗 淳

研究代表者：

愛知県がんセンター消化器内科部 桑原 崇通

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合